

## 令和2年1月定例教育委員会会議録

令和2年塩尻市教育委員会1月定例教育委員会が、令和2年1月30日、午後2時30分、塩尻総合文化センター302多目的室に招集された。

### 会 議 日 程

#### 1 開 会

#### 2 前回会議録の承認

#### 3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について  
報告第2号 2月の行事予定等について  
報告第3号 後援・共催について

#### 4 議 事

- 議事第1号 義務教育学校設置に関する方針について

#### 5 その他

#### 6 閉 会

#### ○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	小 澤 嘉 和
委員	嶋 崎 栄 子	委員	石 井 勉
委員	小 林 夕 香		

#### ○ 欠席委員

なし

#### ○ 説明のため出席した者

こども教育部長	大 野 田 一 雄	市民交流センター・生涯学習部長	赤 津 光 晴
こども教育部次長 (教育総務課長)	太 田 文 和	市民交流センター・生涯学習部次長(社会教育課長)	胡 桃 慶 三
こども課長	花 岡 昇	平出博物館長	小 松 学
家庭支援課長	植 野 敦 司	スポーツ推進課長(新体育館建設プロジェクトリーダー)	田 下 高 秋
子育て支援センター所長	羽 多 野 紀 子	男女共同参画・若者サポート課長	嶋 崎 豊

主任学校教育指導員

黒澤増博

交流支援課長

山崎浩明

図書館長

上條史生

○ 事務局出席者

教育企画係長

横山朝征

## 1 開会

**赤羽教育長** 皆さん、こんにちは。本日は新しい年を迎えた最初の定例委員会でございます。本年もよろしくお願いいたします。

以前は、この時期はちょうど寒中休みとって極寒を迎えている時期ですが、本当に体が痛くなるような寒さってことはなかったかなということを思います。おとといですが、この冬初めての本格的な積雪となりました。上雪とって、今回は南の風で、暖かい湿った雪がたくさん降りました。その雪かきできのうあたりまで筋肉痛が続いておりました。インフルエンザも心配だったので罹患者数を調べてみました。きのう現在は合計で7名だけです。学級閉鎖が1学級ありました。各園等では手洗いうがい、それから換気をずっと徹底して続けております。年度末を迎えまして全ての部署、機関で令和元年度の集大成のまとめ、そして令和2年度の計画づくりに今、力を傾けているところです。

それでは、ただいまから1月の定例教育委員会を開会いたしますのでよろしくお願いいたします。

## 2 前回会議録の承認

**赤羽教育長** 次第に従いまして2番、前回会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

**横山教育企画係長** 前回、12月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。この会議の終了後に御署名をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

**赤羽教育長** よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽教育長** それでは、そのとおりお願いいたします。

## 3 教育長報告

**赤羽教育長** では3番、教育長報告ということで報告に入ります。よろしくお願いいたします。

私からは4点、1つ目は「成人式関係者に感謝」というメールが市長さんから届きました。それについて、それから子ども本の寺子屋「目指せ！図書館マスター」のことについて、令和元年度全国学力学習状況調査の結果の一部について、県教委との行政懇談会について。以上、4点について報告したいと思います。

始めに、令和元年度の成人式についてです。令和2年1月12日に塩尻市の成人式がとり行われました。対象者の人数ですが647名、当日の参加者は519名、8割を超える参加者でした。成人式のスタート前は久しぶりに出会う同級生同士の会話に花が咲いておりました。この先どうなるかなと思いましたが、実行委員会のメンバーがレザンホールのステージ

に立ちました。そうすると、自然に静かになり、無事に式典が終了しました。成人式の後なんですが、小口市長さんに以下のような電話が入ったそうです。そのことについて紹介したいと思います。

先日Nさんと名乗られる女性から感動レベルのお礼の電話がありました。中学校時代に問題があった子から成人式に出たいが当日のクラスメートには余り会いたくない。担任だった先生に会いたいとの相談を受けたそうです。正直に市役所に相談されたところ、組織を挙げて親身に相談に乗ってくれ、参加方法についてさまざまな提案がなされたそうです。結果として成人式への参加と担任だった先生との再会が果たせたとのことです。母親にとって愛する娘が大人の入り口である成人式に参加できたことがこの上なくうれしかったようです。電話口からあふれ出る感謝の気持ちが私の心からもあふれ出ました。市民から大きな勲章をいただいた成人式関係者に感謝というメールが一斉配信されました。

私もNさんの担当をしていた職員から直接報告を受けました。同じような内容ですが、中学校時代は友人となかなかなじめなかった。自分の成人式には晴れ着を着て出席したかった。ちょっと同級生がいると無理だ。どうしたらよいか相談に乗ってくださいと社会教育課の担当窓口相談が入ってきました。連絡をとり合う中で、最初は2階の席に親子席というのがあって、ガラス越しの部屋なんですけれども、そこが候補だったそうです。その後成人が座っている1階フロア、しかも座席後方の学校職員、旧担任がいる席のあたりを提案したそうです。さらに連絡をとり合っていると、前日にNさんが実家に戻ることがわかっていた、リハーサルのときに直接来ていただいて提案した席を確認したと。そして当日は母親と一緒に指定された席で安心して無事成人式を楽しむことができたということです。

私はこの報告を聞いていまして、「あれ待てよ」と思いました。前任校の話なんですけれども、特別支援コーディネーターが、入学式前日、体育館で全部子供たちの席が入った後なんですが、現場を見てここを通って行ってこの席だよという確認、不安だらけの新入生に対して個々に行っているその光景が頭の中によみがえってまいりました。安心して入学式に臨むことができたその子供たちとそのお母さんは本当に信頼関係が生まれて、その糸がどんどん太くなっていくというか、そんなことがあります。子供であっても大人であっても、どんな場であっても大事にしなきゃいけないということは同様なのかなということ、本当に一人一人の育ちに対応するというのか、そういう姿だったのかなということを考えさせられました。

次に、2点目です。今年の12月14日土曜日に行われました子ども本の寺子屋「目指せ！図書館マスター」の出来事です。当日えんぱーく3階多目的ホールの会場に入ったところ、会場後方一番後ろからカメラを構えて。読み聞かせをしている小学生の様子を撮影していた男性に目がとまりました。よく見ますとK小学校の理科専科のS先生でした。目が合いましたので、ちょっと失礼だったんですが、「お孫さん、図書館マスターに出ているんですか」と、質問をしたところ、全然そうじゃないんですよ。発表している子は休み時間に理科準備室によく遊びに来ては図書館の関係の本を借りていく子供なんですよと。仲よくなって、今度図書館マスターの講座でえんぱーくクリスマスの読み聞かせの発表があるからS先生ぜひ来てくださいねというふうに誘われたそうです。その日ですが、歯科医院の予約日の時間と重なって、その先生は朝一番に変更して駆けつけましたって笑顔で話してくださいました。その発表会が終了しました。S先生のところを見ていると、その女の子がずっと挨拶

を済ませた後駆け寄って行って二人で本当に仲よく話し込んでいました。周りから見れば、全員が間違いなく家族の会話だというふうにはしか見えない、そういう光景でありました。

S先生には5月からこの小学校の勤務をお願いしていて、地元でも役職がたくさんあってやっているそうなのですが、ここで思ったことは、子供たちにどうかかわってあげばこんなような姿になるのかなということをおは見ていて感じました。この日のえんぱーくクリスマス会なんですけれども、本当にたくさんの親子がこの発表に集まってくれました。子供たちも自分たちがやったことに対する大きな反響がありまして、子供たちも自然に手応えを感じていると、これこそ自己有用感を育む場だなということを感じ、初回の会を私も参加したんですが、それと比べると本当に力をつけたなということを感じました。あわせて横のほうでえんぱーくの担当の司書の皆さんも、本当に自分の子のように、祈るように子供たちに向かい合っていた姿も今も目に焼きついております。

3点目、令和元年度の全国学力・学習状況調査、塩尻市の児童生徒の結果がホームページでも公表されております。小学校6年生は国語、算数、それぞれにおきまして、全国及び県平均正答率を上回る結果でした。特に国語については大きく上回っていました。中学校3年生ですが、国語は全国及び県平均とほぼ同じ、数学は全国及び県平均を大きく上回りました。一方で英語は全国平均を下回りましたが、県平均は上回っていました。中学校の英語ですが、英語の調査結果を見ますと、読むことの領域は全国を上回っていますが、聞くこと、そして書くことが課題です。まとまった英文を聞いて、複数の情報を整理していく力や、使用場面を理解して、状況に応じて書く力をさらに伸ばさなければいけないと思います。話すことにつきましても、全国を上回っております。これは小学校から英語学習の成果、そこがきているのかなということが考えられます。状況に応じて、即興で対話を続けられる力というのはさらに高めていく必要があります。現在、その結果を生かして、分析して、各校では授業改善を進めているところであります。

次に児童生徒の質問用紙の結果からです。地域や社会とかかわるその観点を絞って報告いたします。質問番号23番になります。今、住んでいる地域の行事に参加していますか、この問いに対して、地域や社会の行事に参加する児童生徒の割合は、当てはまるで見ると、小学生が62%です。全国では平均が37%、中学生は38%です。全国は21%です。こう見ますと、全国よりかなり高い割合となっていることがわかります。それから、地域や社会をよくするために何かすべきことを考えていますかというような問いについても、よい結果が出ています。地域や社会に向けて、地域の行事に積極的に参加している様子はよくうかがえます。各学校では今、コミュニティ・スクールの仕組みを生かして、地域の人や保護者とのかわり、協働による活動がさかんに行われているわけです。また、長期休業中の学習支援とか、総合的な学習の時間での地域活動など、地域と協働した活動が教育効果を上げていると捉えています。地域に開くことがより浸透して行って、教職員の負担軽減ということも考えられますが、各学校の実態に応じた学びにつながってほしいなということをお願いしております。

最後の報告4点目です。県教委との行政懇談会が1月15日、長野市教育センターで開催され、参加してきました。その中で、新たな入学者選抜制度導入に係る今後の対応について、GIGAスクールについて報告いたします。新たな入学者選抜制度導入に係る今後の対応ですけれども、中学校、高等学校における授業改善及び中学校における学習評価が全ての

学校に着実に実施されるためには、一定程度の期間が必要であると判断し、中学校3年間を新学習指導要領で学んだ学年から、新制度を導入が適当であると考えたということで、現小学校5年生が受験する2024年、令和6年度の選抜から新たな入学選抜制度を導入ということになりました。今までの計画でいきますと、2022年度、令和4年度の入学者選抜予定、これが2年延びたわけであります。その主な理由としましては、周知徹底不足、中学校における新学習指導要領評価方法が明確になっていない、不登校生徒の調査書というのが出てくるんですが、その中身がまだ明確ではない、学校現場の負担軽減など、その辺の検討が挙げられておりました。2つ目のGIGAスクール構想ですが、国ではここに来て、GIGAスクール構想の実現ということで、補正予算案が出され、校内通信ネットワーク整備事業では、希望する全ての小、中、特支、高等学校における、校内LANと電源キャビネット整備、それから、児童生徒1人1台の端末の整備事業が提案されています。時限付きの補助金ですので、市としても申請に向けて準備を進めております。一方で、1人1台の環境での有効なICT教育に向けた教職員のスキル向上だとか、年数がある程度たったときに機種の変更とか、新たな予算がその後つくかどうか不明でありまして、今後の見通しを探りながらですが計画的に今、進めているところであります。

以上4点についてお話ししました。それでは、各委員の皆さん、また私の発表のこととかそれ以外でも行事、事業についてお気づきの点などありましたら、後ほど発表をお願いしたいと思います。私からの報告は以上であります。ここで御意見等ありましたらお願いいたします。

**石井委員** それではお願いいたします。ただいま大変心の温まる御報告をいただきまして、素晴らしい関係が育ってるなということを感じております。私からも似たようなケースを一つ御報告させていただきます。

1月16日付の市民タイムスになりますが、小さな親切運動、長野県本部作文コンクール大賞作品の掲載がございました。桔梗小学校に通う児童の作品が大賞に選ばれたということで、それも大変うれしいことなのですが、そのあと学校へ行きまして、その話題になったときに教頭先生から報告をいただいたのですが、その記事をごらんいただいた一般の方から桔梗小学校に電話があったのだそうです。作文を書いた内容もそうですし、御兄弟そろってそういうふうに高齢者と接することができる、そういった子供たちが育つ家庭の様子がうかがえますねという電話だったそうです。大変うれしいことでありますし、子供たちへの評価あるいは温かいまなざし、そしてその家庭まで思いを向けていただいたということに、周りの皆さんの気持ちにも心が温まる気がいたします。

小さな親切運動の目的は、おそらく世の中をよくしていこうということにつながっていくと思うのですが、子供たちにとっては日ごろの生活、小さな場面でも関心を持ち、興味を持ち、どうしてそうなっているのか、あるいは自分だったらこうしたい、こうする、そういった主体性も育てていくことができるのだろうなというふうにも感じております。

また、作文ですので国語力という話がありましたけれども、そこにも当然大きな効果があるはずで、伝えること、表現すること、理解すること、こういったところからコミュニケーション能力が向上してほしいなど願っているところです。積極的な、こういったイベントへの参加取り組みをして御指導いただいている先生方に感謝をいたします。以上です。

**赤羽委員長** 素晴らしい作文でしたね。

**石井委員** はい、そう思います。

**赤羽委員長** ありがとうございます。続いて、ございますでしょうか。

**嶋崎委員** 私も市民タイムスの記事からなのですがすけれども、西小の島村先生が、文科大臣表彰を受けたという記事を読みまして、教育長に報告があったという写真も載っておりました。まなびの教室で、さまざまな特性がある児童たちへの、きめ細やかな指導に対するものだというふうに書いてあったのですが、そういった表彰があること自体も全く知らなかったのですけれども、こういう表彰を受けるまでの経緯というか、どうしたらそういう表彰になるのかというところを知りたいと思います。

**横山教育企画係長** 文部科学大臣表彰につきましては、教員対象の表彰のほか、PTAや学校を含めた団体に対する表彰等、幾つか種類がある中で、毎年、表彰対象に関する調査があります。管内で、表彰の対象になるような成果を出した教員がいますかという調査がありまして、それに対して今回は島村教諭が特別支援の取り組みについて評価に値するというところで、先生を教育長名で推薦しております。その結果、文科省での審査を経て、採用されたという状況になります。仕組みについては以上です。

**嶋崎委員** 学校ごとに該当となる先生いますかと聞いて、校長先生が推薦するような形ですか。

**赤羽委員長** そういうことですね。結局、教育効果を上げている先生に本当にお疲れさまというのと、よく頑張っていますねということと、もう一つは次世代、つまり次につながる先生の指導をしていただきたいなというような、そういう思いもあります。とてもいい賞だと思います。

**嶋崎委員** ありがとうございます。

**赤羽委員長** ありがとうございます。続けて、ありますでしょうか。

**小澤教育長職務代理者** お願いします。けさの新聞であります。ちょっと残念な記事が目にとまりました。その記事というのは、今年をもって環境トーク&パフォーマンスを閉じると、こういうものでありました。振り返れば、十数年前にスタートして、途中、足取りが弱くなったと思われる時期もありましたけれども、そんな危機も乗り越え、あるいは地域の人とか企業の発表も加わったりしながら、ここ数年の子供たちの発表は、非常に輝きが見られるいいイベントだと、そんな感想を持ってまいりました。

出発した当初というのは、4年生が環境施設を見学に行くわけですがすけれども、その報告が主で、出る学校みんな同じパターンでありました。それが数年続いて、マンネリ化に陥っていったわけでありまして。皆さんが知っているように近ごろの発表内容というのは非常に多岐にわたっていて、発表にも工夫が加わってきて、その表現力というのは非常に目覚ましくアップしたなど、そして参観者もだんだんふえてきているように私は感じておりました。

この環境トーク&パフォーマンスに対する市民の関心も非常に高まる中、記事を読めば、学校の負担感だとか、インフルエンザ等々の理由から廃止になったと。世界規模で地球温暖化への取り組みが、グretaさんの一言もあって、非常に盛り上がってきております。グretaさんの言うには、この10年が勝負だよとおっしゃっておりました。私もそれに共感いたします。今までちょっと他人事であったのが、自分のこととなりつつあります。

塩尻市はISO環境保全運動に非常に熱心に取り組んで、先進地を自認している、誇れる施策だなど日ごろ思っていたわけでありまして。だからこそ、この環境トーク&パフォーマンスを持続すべきものと思うわけです。今こそ担当課が先頭になって、学校だけに頼るのでは

なくて、学校の発表にお任せするのではなくて、市民全体でこういうような環境への意識を高めるイベント、これをつくっていく必要が、今だからこそ必要ではないかということをおもいました。大事にしたい環境トーク&パフォーマンスが消えるのは寂しい。また新たな何かが生まれてくることを期待しております。以上であります。

**小林委員** 今、教育委員長さんからお話のあった成人式について、事前に読んでくる資料の中にも成人式のところがあって、これは一体どういうことをみんなでチームをつくってやったのか、お聞きしたいなと思っていたのが、今、お聞きできて、私もすごく感動いたしました。やはり先月も、引きこもりのお話が出たんですけど、こういうことの積み重ねが本当に引きこもりの一歩につながるというか、そういうことだと思うので、会いたくないけれども、でも参加したいということが叶えられて、もしかしたら彼女は社会に出る大きな一歩が踏み出せたのかなと思って感動いたしました。我が子を持ってみると、次男は、やはり会いたくない友達がいるからと言って成人式に出なかったの、親も「そうなんだね、じゃあ出なきゃいいじゃん」というそういうふうな流れだったんですけど、でもこの子のお母さんはちゃんと向き合って、出るという方向に向いたのを聞いて、感動してしまいました。いい報告をいただいております。

別の件なんですけど、4月1日から虐待防止法のことが施行されるということで、私も子供のほうで勉強しているものですから、厚労省から出ている、体罰に頼らない子育てのための素案というのを読んだのです。結構、本当にこういうことをすれば体罰でしょうというようなことが書いてあるんですけど、子育て中のお母さんから、子供に御飯を食べさせるのも結構大変な御家庭が多くて、食べないと、もういいよ、食べさせないよっていうようなことが多いんですけど、それも虐待になっちゃうんだっていう感じでお母さんたちはすごく気にされているんですけども。

この素案を見ると、もっと過激なことをしていれば当然体罰というのはわかるんですけど、そういう子育てで日常あるあるみたいなことを、それを体罰と言うのか言わないのかみたいところで、お母さんたちが結構神経質になっていて、真面目なお母さんたちなので、気にされているんですけど、あと2カ月で施行されるということで、塩尻市としては、何か4月1日に向けて小冊子をつくるのか、親御さんに啓発するとか大人たちに啓発するとか、そういう動きは何かあるのでしょうか。それをお聞きしたいと思って。インターネットから自分で調べればいいという、かなりの量を読まなくちゃいけなかったり、内容的にこれは明らかに体罰でしょうという内容しか書いていないので、わかりにくいなと思って読みましたので、何かそこら辺、ありましたら教えていただきたいなと思います。

**植野家庭支援課長** ありがとうございます。ただいまのお話、改正虐待防止法の体罰禁止の指針案のことかと思っておりますけれども、その中で大きな特徴としてはやっぱり、身体に不快感があれば体罰ということ、冗談で、生まれてこなければよかったというようなことも含めて、従来の体罰の概念からは大きく範囲が広がったという認識をもっております。

今、手元に指針案を持っておりませんが、そういった部分で、実際に子育てにかかわっている皆さんの不安感というのもあろうかと思っておりますので、実際にまだ指針以外の内容で、県、児童相談所等の管轄にもなってきますけれども、そういったところから詳細のものというのはまだ出てきていないような状況にあります。私たちもその辺のところも県と話をする中で、実際に子育てしているお母さんに携わる現場のほうに、小冊子というぐあいにはいかないか

もしもありませんけれども、よりわかりやすいような形で、またお知らせしていくような方法を考えていきたいと思っておりますので、お願いいたします。

**小林委員** ぜひお願いします。ありがとうございました。

**赤羽教育長** ほかによろしいでしょうか。

**石井委員** もう一点、お願いいたします。先ほど御報告で、GIGAスクール構想についてのお話がありました。電子化が進んでおるということ、予算付けの話もございまして、着々と実現に向かっていくというふうな聞いたわけですが、その中で、教職員のスキルアップという御指摘がありました。今、家庭生活においては電子媒体はもう、あって当たり前という形になってきておまして、それに伴って家庭のスキルというものはかなり高いというふうな考えることができます。電子でできないことはほとんどないというくらい、生活の中に入り込んでいるかと思っておりますけれども、学校現場でそこまでの対応は果たして可能なかどうか、家庭側の要望に対して、それにかなうだけの対応が、電子媒体利用を通じてでき上がっているのかというのは、問題になってくるのではないかなと思っております。家庭と学校現場、教育現場の電子媒体環境の統合性、あるいは知識のギャップといったものについて、今後対策を打つ必要があるのかと思っておりますけれども、その辺はいかがでしょうか。

**太田こども教育部次長（教育総務課長）** 国が進めるGIGAスクール構想については、本日の協議会で詳細に触れようかと思っておりますのでございます。私が一番心配しているのは、実際に教職員が子供たちにどうやってそのツールを使って教えるか、その方法だと思っております。環境整備は我々の仕事であります、現場の先生方は実際にそれを使われるということで、まず、私的には、タブレットを使って教えるというイメージよりも、1つのツールとして使う、それを使って何を教えるかというほうにきちんと目を向けていかないといけないと思っております。今後、そういった使い方のガイドラインのようなものも出されるかと思っておりますので、きちんと学校と共有して、情報担当の指導主事もおりますので、その者を中心とした研究会において研究を進めていければと思っております。以上です。

**石井委員** ありがとうございました。何を教えるかという目的を設定していくというお話かと思っておりますが、それと同時に、負担軽減がされることで楽になったという話ではなくて、こういうふうな今度は変えていこうというものを一緒に作り上げていってほしいというふうに願います。

**赤羽教育長** ありがとうございました。ほか、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽教育長** ありがとうございました。質問等、ここで打ち切りたいと思っております。

### ○報告第1号 主な行事等報告について

**赤羽教育長** それでは、報告第1号、主な行事等報告についてお願いいたします。資料の1ページから6ページです。事務局より、主要な行事について御説明をお願いいたします。

**山崎交流支援課長** 1ページの2段目、12月14日のえんぱーくクリスマスです。主担当として交流支援課が主催ですが、交流支援課、図書館、子育て支援センターの3つの部署の合同企画として、1階の子育て支援センター及び3階の市民サロンで毎年開催しています。囲碁、将棋、オセロなどのゲームを楽しめるゲーム交流会、燕屋という人形劇団による人形劇、手作りの雑貨や手芸品、お菓子などの店が軒を連ねるクリスマスマーケット、図書館マスタ



ーを受講した児童によるおはなし会、市民活動団体によるインスタ映えするようなクリスマスらしい飾りつけのフォトスポット設置、ワインの木箱を使った一箱古本市など。子育て支援センターではクリスマスの飾りづくりを行ったり、全館周ってスタンプをためるスタンプラリーを行ったり、賑わいあふれる1日となりました。約3,100人の親子連れが集まり、えんぱーくには1日中笑顔があふれていました。

**田下スポーツ推進課長（新体育館建設プロジェクトリーダー）** それでは3ページをお願いいたします。3ページの下段、12月21日に新体育館の工事現場の市民見学会を実施いたしました。内容として、鉄骨の組み立てができてきましたので、規模感と、スケール感を体験していただきたいということで、市民向けの機運醸成を目的に見学会を実施したものでございます。

成果といたしまして、大きな箱物となります体育館のスケール感を感じてもらうことができて、有意義なものでございました。その他のところに記載をさせていただいておりますが、当初は安全性を考慮いたしまして小学生以上とさせていただいておりましたが、未就学児、小さなお子さんの見学希望が多数寄せられましたので、急遽午後「ちびっ子見学会」の開催をしたところでございます。

参加者からアンケートの結果、大変好評でございましたし、塀の中でどんなことが行われているのかなという市民の関心も高まってきておりますので、新年度も開催をぜひしていきたいと考えておりますし、機会がございましたらぜひ委員の皆様にも現場を見ていただければと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。私からは以上です。

**赤羽教育長** 続いてお願いします。

**上條図書館長** 4ページの2段目をごらんください。12月22日、「目指せ！図書館マスター」の修了式を開催いたしました。教育長報告でありましたように、講座にはおはなし会本番に向けての練習と本番での発表が含まれておまして、7月から5カ月間にわたって、図書館の仕事ですとか、司書の仕事を学んでくれた子供たち8人に修了証を渡しました。これまでの図書館マスターにこの8人を加えて50人に達したということで、この子供たちがその体験や学びを学校に戻って周りの子供たちに広めてほしいという思いがこの先にございますけれども、そんなことを期待しながら実施した事業でございます。図書館マスターのような子ども司書という取り組みはここにありますが全国で展開されており、当館の活動がラジオ番組に取り上げられるという機会もありました。さらなる充実を図ってまいりたいと思っております。以上です。

**赤羽教育長** 続けてお願いします。

**胡桃市民交流センター・生涯学習部次長（社会教育課長）** 4ページ下段でございます。先ほど教育長さんから御報告ありましたとおり、成人式を開催したものでございますが、幾つか補足をさせていただきます。その前に、資料訂正でございます。済みません、「令和元年度」は、「令和2年」でございます。恐れ入ります。あと成果の部分で、5段目「組織ぐるみ」と書いてございますが、「組織を挙げて」に訂正をお願いいたします。

先ほど、お褒めの言葉を親御さんから頂戴したということで、大変事務局としては嬉しかったのですが、逆を言うとこれまでそういった配慮をしなければいけない方たちに配慮ができていなかったということは、事務局として反省しなければいけないということに気づかせていただきましたので、逆に事務局として親御さんにお礼を申し上げた次第です。こういった

相談があり、これまではがきも事務的な案内しかしませんでした。別枠で、ぜひ御相談がある方は事務局に御相談くださいという一文を入れさせていただくこともできましたし、あと親御さんが、私の娘がこうであったように、ぜひ来年度以降こうそのような方がいると思いますので、私もお手伝いできることがあればぜひお声掛けくださいという温かいお言葉を頂戴できました。今後、多くの方に気持ちよい形で成人式に参加していただければと考えますし、成人式に限らず、様々な面で配慮をしなければいけないということに気づかせていただけたことは、事務局としてありがたく感じた次第でございます。私からは以上です。

**赤羽教育長** 続けてございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽教育長** それでは、今発表がありました。委員の皆様から御質問や御意見ありましたら、よろしくお願ひいたします。

**石井委員** 資料4ページ、御報告のありました図書館マスターについてお聞きいたします。50名ほど既に修了されているということで、今後の学校等での活躍が期待されるということですが、具体的にはどのような活動を期待されていると思いますか。

**上條図書館長** 具体的に市内でありましたのは、小学校で、図書館マスターのおはなし会などで読み聞かせの体験をした子供が学校図書館の委員をする中で、高学年の子供たちに読み聞かせの仕方を教え、教えられた高学年の児童たちが低学年の児童たちに休み時間に読み聞かせをするといったような取り組みが既に展開されています。子供たちが本により親しむ活動を子供たち自身が学校図書館を中心とした現場で展開していただく、図書館マスターで知った図書館の魅力と司書の仕事、あるいは本の楽しさといったことを、さまざまな形で広げていただく、そういうことを期待しているものでございます。

**石井委員** ぜひ、子供たちからのアイデアも吸い上げていただければと思います。ありがとうございました。

**赤羽教育長** 続けてございますでしょうか。

**小澤教育長職務代理** お願いします。それでは2点、行事の中から、私見を交えながら発表したいと思います。

1点目は、先ほど来からのドラマチックな成人式の変化です。今年は、けじめがあり整然とした式であり、今流の工夫もあつたりで、成人者にとって、心に残る成人式になったんだろうなあということをも思っています。

違う視点から私が感じたことであります。式を進行する司会者の司会ぶりに私は感心しました。当意即妙という言葉がありますけれども、機転のきくその言葉遣いには本当に、すごいなあと感じたり、何か感慨深いものを感じたり複雑な思いでありました。数年前の司会ぶりを思い起こしますと、どこか、はにかみだとか遠慮とか言葉を探っているとか選ぶとか、そういうような様子がありました。ところがことしは、口からポンポン出てくる、この差は何だろうと、そんなことを自分に問い返す帰路でありました。

彼らの巧妙な司会ぶりを聞きながら、私の頭の中では、PISAってありますよね、そのPISAの結果を思い出しました。例えば、この結果とあの司会ぶりとを重ねたときに、何であんなに立て板に水のように語るのに、PISAの表現力は、日本はストーンと落ちている。どこからこの落差が生まれるんだろうかと疑問を持ちました。思いつくところを言えば、LINEなどで、短文でしかも簡単な言葉でいともたやすく、浮かんでくる言葉のみで相手

方とやりとりができる、このような現在の情報システム、これが一般化した。これが一つの要因かなとも思います。じっくりゆっくり丁寧に自分が伝えようとする内容を練る、こんな機会が少なくなってきた今の世の中であります。だから表面的なやりとりには得手しているけれども、ちょっと深掘りするような場に立たされると、弱点が出てそこから逃げてしまう。こういう現代の子供たちの姿が浮かんでくるわけであります。

こういうような世相、傾向の中で、やっぱりゆっくりじっくり丁寧に考える場、これを提供できるのは学校の授業だろうと私は思います。今こそ、働き方改革の名のもとに、勤務時間の縮減だけに目が向くのではなくて、授業改善、つまり子供をじっくり取り組ませる、こんな授業づくりに励むことを後輩たちに望みたいと思います。これを今やっていかないと、ますます経済力のある家庭は塾のほうへ子供を預けてまいります。格差が生じてきます。公教育に求められる信頼感はどこにあり、不易の部分というものを今こそ大事にしていきたいと、そんなことを思う最近であります。以上がつぶやきです。

2つ目、冬季スケート競技会についてです。最初、みどり湖で開催したと思うんですけども、途中、岡谷のスケート場に変えたり、あるいは松本と同時開催をしたりするなどの工夫を重ねて60年が過ぎてきております。十数年前には、学校対抗があつたりで大いに盛り上がったことを今懐かしく思い出しております。ところが、昨今、12月の初旬に開催日が移ったこともあつた。これも原因なのか参加者が急に減ってきております。変な言い方ですけども、参加者にとって、この大会というのはあんまり魅力を感じなくなってきたのかなあ、なんてことも感じるわけであります。とすると、この冬季大会もそろそろ終わりを迎える時期かなあ、なんてことをひそかに思うんです。この辺の空気はいかがか、そんなことを思います。以上であります。

**赤羽教育長** では、社会教育課長お願いします。

**胡桃市民交流センター・生涯学習部次長（社会教育課長）** 教育長職務代理さんのつぶやきでございましたけれども、実は私10年前も成人式の担当でありまして、当時の様子も存じ上げておりまして、今年の雰囲気を一言で言うと、こんなに何も問題がなかった成人式はないなっという一言です。10年前は、入り口で一升瓶を取り上げる職員がいて、酔っ払っている成人をなだめるとか、一升瓶を割らないように注意するとか、やんちゃな子が結構いました。それに引き換え今年は本当に皆さん紳士淑女でありまして、肅々と式が進み、こんなに問題が起きないんだと逆にびっくりした次第です。実際、司会をした実行委員の青年も、基本的には自薦で実行委員になっていますので、恐らくやる気があって応募してくれたと思いますけれども、やはり人前でしゃべるっていうことになれているのかなと感じました。大学など、もしかしたらサークルで何か中心的な役割をやっていたのかなとか。しゃべるっていうことは、なれだと思えます。やはり同世代であるからこそ、余り肩に力が入らなかつたのかなというところ。私も脇で見ていて、すごい俺にはできないぞと思いながら見ていましたけれども、そういったところはやはり成長の過程で培われるもので、環境が大きいのかなと、私も感じたところでございます。先ほども申し上げましたけれども、今後もよりよい成人式になるように努めてまいります。

**赤羽教育長** 続けてスポーツ推進課長。

**田下スポーツ推進課長（新体育館建設プロジェクトリーダー）** スケート大会につきまして、ありがとうございました。正直なところ、12月の中旬、このような時期に本来ですと開催

したくないところが本音でございます。ただ、岡谷市のスケート場をお借りする中で、県内でも限られた会場しかない中で、競技会の数というのは、年間通して決まった日程がございますので、ローカルな大会はシーズン始まった直後かシーズンの終盤、施設が使えるか使えないかわからない2月の中旬ぐらいしか施設がとれないという苦勞もございまして、松本市も浅間がなくなった関係上、松本市と朝日村と合同開催をする中で競技会を開催しております。ただ、参加している大人もそうですし、お子さんの姿を見ておりますと、大変頑張っている姿、目に飛び込んでまいりますので、細々となつてはきておりますが、松本市とも話をしまして、続けられる限りは頑張りたいねということで確認をさせていただいておりますので、市としても何とか人口をふやせないかということで打てる手は打ってまいりたいと考えておりますが、継続して開催する意思は今のところ持っておりますので、御理解をお願いしたいと思ひます。

**赤羽教育長** よろしいでしょうか。

**小澤教育長職務代理者** はい。

**赤羽教育長** 別件でございますか、よろしいですか。ありがとうございます。ほかにないようですので、次に進めていきたいと思ひます。

#### ○報告第2号 2月の行事予定等について

**赤羽教育長** では、報告第2号、2月の行事についてお願いいたします。資料7ページであります。全員にかかわるものは、25日の定例教育委員会、協議会です。それから、みんなで作る子どもの未来、本の寺子屋などの講演会、また高校改革にかかわる住民説明会というのが、夕方塩尻市を会場に行われます。ここは大きく3つ、塩尻市、松本市、安曇野市。そこで、山形村と朝日村が塩尻会場ということで分かれてやる会があります。

次、こどもアトリエタウン、コミュニティ・スクールの市民集会など行事がありますので、御都合がつくところで、ぜひ御参加をお願いしたいと思ひます。御質問がありましたら、このページでお願いいたします。よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽教育長** それでは、次に移りたいと思ひます。お願いいたします。

#### ○報告第3号 後援・共催について

**赤羽教育長** 報告第3号に移ります。後援・共催についてですけれども、資料8ページと9ページのほうにあります。見ていただくとお思ひますけれども、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽委員長** ありがとうございます。では、次に進みます。

### 4 議事

#### ○議事第1号 義務教育学校設置に関する方針について

**赤羽教育長** 議事第1号、義務教育学校設置に関する方針について。資料10ページ、11ページをお開きください。事務局より説明のほうをお願いします。

**太田こども教育部次長（教育総務課長）** それでは、議事第1号、義務教育学校設置に関する

方針について御説明申し上げます。まず、趣旨につきましては、檜川地区振興協議会から提出されました義務教育学校設置の要望を受けまして、木曾檜川小学校と檜川中学校を施設一体型の義務教育学校とすることに関して、協議、決定をお願いするものでございます。11ページの檜川地区振興協議会からの要望書につきましては、説明は割愛させていただきますので、御確認をお願いいたします。

次に、経過につきましては、平成28年度から檜川地区振興協議会教育振興検討部会において協議を重ね、平成30年11月に、地区内アンケート調査を実施しております。アンケートの結果につきましては、1,568人からの回答があり、回収率81.0%となっております。義務教育学校設置に対しては、賛成、どちらかといえば賛成が61.5%、反対、どちらかといえば反対が6.9%となっております。また、平成31年3月には、檜川地区振興協議会から義務教育学校設置に関する要望書を提出いただき、市教育委員会において検討してきたものでございます。

今後の対応としましては、令和2年2月の市議会、議員全員協議会において協議をお願いするとともに関連する経費について、令和2年度予算案に計上し、市議会3月定例会に上程していきたいと考えております。

また、要望事項への対応方針につきましては、檜川地区振興協議会からの要望書に記載された5項目の要望事項でございますが、(1)から(3)につきましては、要望のとおり進めていくこととしておりますし、(4)につきましては、今後地域、学校と連携を図りながら特色ある教育課程への編成に努めてまいりたいと思っております。なお、(5)につきましては、アンケート結果から多くの個別の意見、要望等がありましたが、可能な範囲で考慮してまいりたいと考えております。説明は以上でございます。

**赤羽教育長** ありがとうございます。今説明がありましたが、この件に関しまして委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

**石井委員** 要望事項への対応方針の(3)で小規模特認校としての可能性について記載がございまして、導入に向けて検討を進めるというお話になっております。この小規模特認校という範疇に限らない話にはなってしまうのですけれども、せんだって発表された話で、移住したい都道府県第1位に長野県が14年連続で選ばれたと、これは関係する皆さんの努力が成果になったというふう思うわけですが、ただ、時代といたしましては、人の流れが非常に激しく速く複雑になっていると、情報や人の移動が加速する、これを高流動化というのだそうですけれども、そんな時代背景も実際には想定しています。そうなったときに、移住あるいは小規模特認校でいうと市外からの流入ですよ。人の動き、人材の流入流出といったことが長期的には課題になってくるのかなあというふうに思うところです。優秀な方が入ってきて、またここでそれに伴って成長していただければ、これは町としても望むところかと思うのですが、逆に流出ということになりますと、やりたいことがあって市外県外へ出ていく、そんなお子さん方もふえてくるのかなあというふうには、期待と心配が入り混じったようなそんな感触を受けます。

せんだっては箱根駅伝で塩尻出身の選手が非常にいいタイムを出しまして、今後が期待できるわけですが、ああいったアスリートの世界ではもう既に、このランクこのレベルを狙っていくといったような取り組みが幼少のころからされているという話も聞いております。なかなかそれに応えられる環境が生まれ育った町にあるかということ、ちょっと難しい

ところもあるのでしょうけれども、ぜひそういった人材の動きに関しまして、この町で暮らしたい、この町で生活をして次の世代も育てていきたいというような魅力ある町づくりをぜひ、この特認校の考えの中にもきっちり盛り込んでいただきたいなというふうに要望いたします。

**赤羽教育長** そのほかございましたら、お願いいたします。

**小林委員** よろしいですか。ここに書いてあることとはちょっと関係ないかもしれないのですが、11月に檜川小学校のほうに施設ミーティングというのですかね、伺ったときに給食をいただいて、そのときに目の前にいた男の子とたまたま話が盛り上がって、僕のお姉ちゃんは、諏訪にありますよね、中高一貫の、諏訪清陵の中学に受験して入ったんだという話をして、へえ、そうなんだ、じゃあ、ぼくはどうするのって、ぼくも行くんだみたいな話をしていたのですが、檜川小中学校のほうから流出というか、先ほどその話があったのですが、すぐ隣というか諏訪市のほうにそういう学校ができて、行ってしまっただけであって思ったのですが、そういう実際的にはどのくらいの子供たちが、例えば松本の中高一貫に行ったりしていますか。この間からずっとそれが気になっていて、こういう話があるのに、ああ、外に出て行っちゃうんだって思っていて、すぐにじゃなくてもいいですけど。

**太田子ども教育部次長（教育総務課長）** 近隣の特に私立の中学校、松本秀峰であったり、信大付属であったり、才教学園、それから清陵等もありますが、ちょっと前の数字で申しわけないのですが4年ほど前の状態で、小中学生全体で141名ほどが市内の公立へ進学するのではなくて、市外の私立校等へ通学しております。1学年にするとそんなに多くはないとは思いますが、9学年まで見ている中ではそのような状況です。ちなみに諏訪清陵については大体、1学年で9名から10名くらい、多分地域枠があると思いますので、立地している諏訪市が一番多くなるかと思えます。

**小林委員** ありがとうございます。ぜひ、魅力ある学校づくりという点で、そういうふうに引きとめるというわけではないけれど、ずっと檜川でと思ってもらえるようなつくりをしていただきたいと思えます。ありがとうございます。

**赤羽教育長** 私も木曾檜川小の校長をやっていましたが、今、中2の子が8名しかいません。8名しかいないのですよ、生徒が。その子たちが小学校1年のときは15名いたんです。この学年が特になんですけれども、本当に半分近くまで転出して、西部中に行っている子もいます。今度、義務教育学校ということで、この先どうなるかわかりませんが。

義務教育学校設置に関する方針について、ほかにまだ御質問あったらお願いいたします。御意見もあったらお願いします。よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽教育長** ありがとうございます。それでは、採決したいと思います。議事第1号につきましては、原案のとおり決することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**赤羽教育長** 異議なしと認めまして、原案のとおり決することといたしました。ありがとうございました。

## 5 その他

**赤羽教育長** 本日本日予定されていましたが以上ですけれども、そのほかに委員の皆様から何

かありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽教育長** 事務局から何かありましたら、お願いいたします。

**植野家庭支援課長** お願いいたします。お手元にチラシを配らせていただきましたが、元気っ子研修会ということで、愛着障害を理解し支援すると題しまして、2月10日月曜日午後5時半からになりますが、保健福祉センター3階市民交流室で、和歌山大学教育学部教授の米澤先生より講演をいただきます。対象は保育、教育、子育て支援等にかかわる関係者を中心とした研修となりますが、米澤先生におきましては昨年も御講演いただいております。愛着に関しまして基礎編から応用編まで、複数回に分けて講演をいただいているのですが、本市も各校から学校のほうに入っていたりしながら研修をしてきております。昨今、愛着の特定の方との絆が結べていないお子さんが、増えておまして、そういったところを保育、教育、総合的に理解した上で、市としても進めていきたいとそういった内容となっておりますので、130名ほどの応募がありまして非常に好評なのですが、委員の皆様、参加についてお知らせいただければ、お席のほう確保させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございました。ほかにありますでしょうか。よろしいですか。

## 6 閉 会

**赤羽教育長** それでは、以上をもちまして1月の定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後3時42分に閉会する。

以上

令和2年1月30日

署 名

教 育 長

---

同職務代理者

---

委 員

---

委 員

---

委 員

---

記 録 職 員 教 育 総 務 課  
教 育 企 画 係 長

---